

vol. 277

Summer 2024

お茶の水女子大学の今を伝える広報誌

Ochadai

お茶大ガゼット

# GAZETTE

## Contents

### 02 コンピテンシー育成開発研究所の活動紹介

坂元 章

理事・副学長(評価・学校教育開発支援担当)、附属学校部長

### 06 学生のアクティビティ

Ochadai 学生アンバサダー

### 08 教員紹介

三宅 雄大

基幹研究院人間科学系 助教

### 09 卒業生紹介

池松 香 さん

理学部情報科学科卒業、理学専攻情報科学コース修了、  
理学専攻情報科学領域修了

### 10 附属学校園からのお知らせ

文京区立お茶の水女子大学こども園

# コンピテンシー 育成開発研究所の 活動紹介



HPIはこちら▶

未来の自分をデザインする

大学で見つける新しい 学び

## 坂元 章

理事・副学長  
(評価・学校教育開発支援担当)、  
附属学校校長

2022年4月より、コンピテンシー育成  
開発研究所長  
専門分野は、社会心理学、情報教育



2022年4月に設置された総合知開発研究機構に属する研究所の一つである、コンピテンシー育成開発研究所についてご紹介します。

コンピテンシーとは、社会の場で成果を上げる資質や能力を意味します。お茶の水女子大学は、とくに「お茶大コンピテンシー10」と呼ぶ10個のコンピテンシーを中心として、授業や支援システムを通じ、それを全学的に育成しようとしています。コンピテンシー育成開発研究所長の坂元 章 理事・副学長(評価・学校教育開発支援担当)にお話を伺います。

### Q1 コンピテンシーの育成が求められているのはなぜですか。

コンピテンシーとは、本研究所では“社会の場で成果を上げる資質や能力”と捉えています。これは、学校のテストの点数で測られる、いわゆる従来の学力とは異なるもので、特定の学問分野を超えて様々な場で育成・発揮される能力を指しています。代表的なものに、批判的思考力や創造的思考力などの“ものごとや考えなどをより良くする力”や、自己制御力や他者理解力などの“自身や他者との関係をよりよく保つ力”が挙げられます。

大学では、多くの場合、例えば、文学、心理学、物理学などの特定分野の専門的な学修をします。専門的な学修は、物事に関する深遠さを味わう体験になったり、専門性を持つ人にしかできないことができるようになるという強みを持てたりする点で意義が大きなものです。しかしながら、実生活では専門的な能力ばかりでいつも対処できるとは限りません。とくに変化の激しい現代社会では、いろいろな状況に対応する力を求められ、先に挙げた批判的思考力などの、分野を超えて

発揮される力が必要になります。そのため、大学では、専門的な学修に加え、コンピテンシーの向上が望まれます。

### Q2 お茶の水女子大学ではどのような能力を育成しているのですか。

本学では、学生に卒業までに身につけてほしいコンピテンシーを「お茶大コンピテンシー10」として定めています(表1)。このコンピテンシーは、OECD(経済協力開発機構)が、身に付けておくべきものとして提示したコンピテンシーの枠組みを踏まえてまとめたものです。これらは学生の皆さんが卒業後の人生を幸福で充実した状態で送り、また人々がそれを享受できる新しい時代を創造していく上で重要とされる力です。「新たな価値を創造する力」として3つ、「対立やジレンマを対処する力」として3つ、「責任ある行動をとる力」として4つのコンピテンシーを設定しています。本学では、学士課程の学位授与方針(ディプロマポリシー)の中にコンピテンシーを位置づけ、2024年度よりこうしたコンピテンシーの育成教育を全学的に展開しています。

なお、「お茶大コンピテンシー10」は、“個人や社会の幸せ”という、より包括的な目標に必要とされる様々な力を含むものとなっています。例えば、今年4月に新設された共創工学部では“工学的な問題解決”に必要とされる力(社会的な課題を発見する力である「発見力」など)を育成の目標とするなど、各学部により具体的・詳細にした独自のコンピテンシーも定めています。

### Q3 コンピテンシーはどうすれば身につくのでしょうか。

本学では、「授業」と「専用システムの活用」を通じて、コンピテンシーの育成を推進しています。

#### 授業での育成

コンピテンシーを伸ばす授業は、大きく2つの種類があります。

まず、コンピテンシーの向上自体を授業の目的として位置づけた授業です。授業では、さまざまな授業や生活の中で、どのような行動や体験をすることによってコンピテンシー

が伸ばせるかを学びます。この授業によって、コンピテンシーを伸ばすための力を身に付けます。

次に、通常の教養科目や専門科目の授業です。各科目はそれぞれ特定分野の学修を第一の目的としますが、多くの授業では、それに併せてコンピテンシーの向上も狙っています。教員に対してはコンピテンシーを伸ばすための授業方法に関する研修が行われています。

コンピテンシーは、幅広い分野や課題に対して有効な力となりますので、さまざまな内容の授業や場面で訓練されることが重要と考えます。

#### 専用システムの活用

本学には、コンピテンシー育成支援システム「CACICA(カシカ)」があります。学生は、専用システムを使って、自分のコンピテンシーの水準や学修履歴を知り、どのような授業を取れば、どのコンピテンシーを伸ばすことができるかを理解することができます。これは、学生のコンピテンシーを育成しようとする意識を高めるものと考えます。

このように、授業を通じて多数の育成機会

を提供すること、また、専用システムを通じて自身の主体的な育成を促すことで、学生の

コンピテンシーを効果的に伸ばせると考えています。

表1 お茶大コンピテンシー10

区分	コンピテンシー	定義
新たな価値を創造する力	批判的思考力	自分の意見や考えを、意識的に見直す力
	創造的思考力	新たな価値や優れた考えを生み出す力
	協働力	個人では得がたい成果をグループ全体で得るために、役割分担したり、助け合ったりする力
対立やジレンマに対処する力	問題解決力	実際に起きた問題で、解決の道筋が明らかでないものを改善・解決できる力
	他者理解力	様々な他者の立場や考え方などを推測したり、理解する力
	対人葛藤解決力	他者との意見や価値観の対立を解決する力
責任ある行動をとる力	省察的思考力	自らの活動を振り返って気づきを得る力
	内的統制感	自分自身の行動がある成果や結果をもたらすという期待
	自己制御力	望ましい目標を追求し、望ましくない目標追求を抑制する力
エージェンシー	社会に望ましい変化をおこすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する力	

担当：赤松 利恵 広報・学術情報担当副学長、広報推進室長 基幹研究院自然科学系 教授

# コンピテンシーを育成する授業

教養科目や専門科目の授業では、さまざまなコンピテンシーが育成されています。  
なかでも学生から「コンピテンシーが身についた」と高く評価される授業を担当されている先生が、自身の授業内容や工夫について紹介します。

## 進化生物学 服田 昌之 教授

### 知識を論理的に活用することで 批判的思考力を身につける



この授業では、基礎的な知識を教授するだけでなく、受講生が自身の言葉で説明できることを重視しています。単に講義を聞いているだけだと、受講生はどうしても「わかったつもり」になりやすいため、そういった「わかったつもり」を暴く問いかけを積極的に行っています。写真は、遺伝子(有性生殖と種分化の機構)について説明している様子です。授業の中で進化の基本的なメカニズムを伝えたいと、ある場面において複雑な進化が起きた理由を考えさせる、といった課題を用いています。このように、

この授業では、基礎的な知識を教授するだけでなく、受講生が自身の言葉で説明できることを重視しています。単に講義を聞いているだけだと、受講生はどうしても「わかったつもり」になりやすいため、そういった「わかったつもり」を暴く問いかけを積極的に行っています。写真は、遺伝子(有性生殖と種分化の機構)について説明している様子です。授業の中で進化の基本的なメカニズムを伝えたいと、ある場面において複雑な進化が起きた理由を考えさせる、といった課題を用いています。このように、



受講生が基礎知識を論理的に活用する課題を用いることで、将来にも役立つ論理的な考え方とは何かを教える機会を作っています。また、提出された課題に対して丁寧なフィードバックを行うことで、受講生が自身の考え方は適切だったのか、正しい考え方はどういったものなのかを知ることができるように心がけています。これらを通して、受講生が自身の思考を客観的に点検する省察的思考力、論理的に知識を用いる批判的思考力を育成できると考えています。

## 心理療法学演習 山田 美穂 教授

### 心理療法を協働して学ぶことをとおして 他者理解力を身につける



さまざまな心理療法について受講生同士が話し合いながら理解を深めていく授業を行っています。臨床心理学のセラピー技法について、受講生は「まだやったことがないので想像しにくい」状況になりやすいため、セラピーの技法を初心者同士で体験できるように、日常生活でも生かしやすいように、わかりやすく変更することを試みています。写真は、授業の中でグループ活動を行っている様子です。受講生同士の信頼関係を構築することで、不安やとまどいを和らげられるようにウォームアップ、ロール

さまざまな心理療法について受講生同士が話し合いながら理解を深めていく授業を行っています。臨床心理学のセラピー技法について、受講生は「まだやったことがないので想像しにくい」状況になりやすいため、セラピーの技法を初心者同士で体験できるように、日常生活でも生かしやすいように、わかりやすく変更することを試みています。写真は、授業の中でグループ活動を行っている様子です。受講生同士の信頼関係を構築することで、不安やとまどいを和らげられるようにウォームアップ、ロール



プレイ、他各種演習として体験できるようにしています。また、受講生の特性や心理状態にも目を配りながら、受講生たちが自主的に他の受講生とグループ活動を行えるように働きかけ、その中で出た意見を共有するようにしています。積極的に受講生同士が関わりあう機会を作ることで、他者理解力や協働力の育成を目指しています。

プロモーション  
キャラクター  
chaシカちゃん



## コンピテンシー育成支援システム CACICAの活用



イメージ  
キャラクター  
コンピ天使ちゃん

このシステムは、学生の計画的なコンピテンシー育成を、在学中を通してサポートするための機能を備えています。学生は、その機能を活用し、右の図に示す「コンピテンシー育成・向上サイクル」を、半期あるいは一年単位でまわすことで、自己を磨いていくことが期待されます。



### STEP 1 | セルフチェック

一年に一度(4月)、お茶大コンピテンシー10を自己査定するテストを受検します。

#### セルフチェックの結果表示

10のコンピテンシーの自己査定結果が即時表示され、自分の強み弱みが把握できます。



### STEP 2 | 目標設定

STEP 1の結果や、これまでの取り組みなどを参照して、この一年で伸ばしたいコンピテンシーの種類を決めます。

### STEP 3 | 行動計画

授業や課外活動(アルバイトなど学外の活動含む)で、コンピテンシーを伸ばすためにどのように行動するかを考え、記入します。

#### 行動計画入力例

学生は、個人の目標に応じて、以下のような様々な計画を立てるうえで、授業や活動に臨みます。

Step3:行動計画 ③行動計画	
授業コード	24A1705
科目名	中級英語 I (1)
単位数	1.0
コンピテンシー	<input checked="" type="checkbox"/> 批判的思考力 <input type="checkbox"/> 協働力
活動内容とコンピテンシー伸長のための行動指針	
グループワークにおいて、自分の意見を主張しつつ、相手の意見を尊重する。	

#### 行動指針の具体例

※実際に学生が記入したものです

#### ■中級英語 I

グループワークにおいて、自分の意見を主張しつつ他者の意見も取り入れ、グループのメンバー全員が納得できるような回答を意識する。

#### ■政治学総論 II

私たちの生活にとって重要である政治について正しい知識を持ち、自分の考えに根拠を持てるようになる。多くの知識を得ることで、新たな考えを身につける。

#### ■授業時間外の課題への取り組み

レポートの作成などにおいて、参考とする資料の信憑性をよく確認する。また、自分の意見をまとめる際に、偏った見方や先入観がないかをよく確認し、客観的かつ論理的な内容になるよう繰り返し見直しをする。

### STEP 4 | 振り返り

学期末か次の学期の初めに、計画がどの程度達成されたか、どのような経験が得られたかを振り返り、次の計画につなげます。

## ~CACICA活用レポート~

### 生活科学部2年 星 ひなた さん

コンピテンシーの育成には、自分がそのコンピテンシーを育成することでどうなりたいかという意識を持つことが重要とされますが、CACICAはそうした意識を作るためのサポートをしてくれます。CACICAで伸ばしたいコンピテンシーを設定したことで、普段の生活でも自分の成長を意識する機会が増えたと感じています。



### 文教育学部2年 奥村 佳奈 さん

この取り組みのおかげで、普段の授業やアルバイト等で人とコミュニケーションをとる時に、自分の中の他者理解力や協働力が生きてくると感じた場面が度々ありました。CACICAは、普段の生活をよりよく方向づけるための有用なシステムと捉えています。



# 学生の アクティビティ

## Ochadai 学生アンバサダー

お茶大の広報活動を盛り上げる、  
大学公認の学生スタッフに  
インタビューしました!

### 体制・普段の活動内容について教えてください。

私たち Ochadai 学生アンバサダーは、お茶の水女子大学の広報活動を学生ならではの視点で行っていく大学公認の団体です。2023年5月に発足したばかりの団体で、今年で発足2年目になります。普段は、週に2回ミーティングを開いて、大学広報に関わる様々な活動をメンバー間で話し合いながら行っています。例えば、高校生に向けた大学



■ミーティングの様子



■購買販売商品のポップ作成



お茶、ネコ、桜をモチーフにした温かみのあるデザインで、優しい三色展開です!

■2023年度にデザイン考案に携わったグッズ

見学会や、オリジナルグッズのデザイン考案、大学刊行物への掲載写真モデル、購買販売商品のポップ作成などです。広報活動を行うなかで、自分自身も大学の魅力を伝えようと常に考えるようになるので、お茶大の良さを再発見できるのが活動の最大の魅力だと思っています。メンバーには、学部2年生から修士1年生まで、学部も学科も様々な学生が現在15名在籍しています。1年目の活動から継続しているメンバーも多数いて、経験からアドバイスをくれる頼りになる存在になっています。継続メンバーも新規メンバーも活動を楽しんでおり、何よりお茶大愛が強い人達ばかりです!

### これまでの活動で心に残っていることや、 力を入れていることはどんなことですか?

アンバサダーの活動は多岐に渡りますが、特に印象深いのは、高校生や保護者の方と直接関わらせていただいたことです。2024年3月末には大学見学会を開催し、大学説明・キャンパスツアー・座談会を行いました。大学説明では、お茶大の教育プログラムのみならず、私たちアンバサダーの具体的な学生生活について、時間割や1日のスケジュールを織り交ぜてお話ししました。キャンパスツアーはルート選定や原稿作成から準備をしていたので、楽しんでくれている高校生や保護者の方々の様子を見て嬉しくなりました。座談会では、質問にお答えしながら受験体験談も含めて双方向にたくさんお話をすることができました。来ていただいた方からは、お茶大に通いたい気持ちが強まった、

学生の生の声を聞くことで大学生活のイメージが膨らんだ、などの嬉しい感想をたくさんいただきました。

その他にも、お茶大公式 Instagram に掲載する受験生へのメッセージの作成も行いました。この4月に新年度を迎えて、活気づくキャンパスの中に、私たちが直接的にも間接的にも関わらせていただいた受験生あためお茶大生がいるのかもしれないと思うと、温かな気持ちになると同時に、アンバサダーの活動をさらに頑張っていきたいと意気込む日々です。



お茶大公式  
Instagram

### 読者へのメッセージをどうぞ!

7月に行われる学部オープンキャンパスでは、アンバサダーによるキャンパスツアーを実施します。魅力あるツアーとなるよう全員で準備を行って



■キャンパスツアーのルート相談

います。また、これまで実施した大学見学会でのフィードバックを踏まえて、主に高校生にお茶大の魅力や学生のリアルな声をたくさん伝えられるようにしたいです。

最後に、私たちの存在を学外の方だけではなく、学内の方にも広く認知してもらいたいというのがアンバサダー一同の思いです。私たちはお茶大の良いところをもっと知ってもらい、大学全体を盛り上げていこうという心意気で幅広く活動しています。まだまだ発足2年目ですが、これからの私たちの活動にご期待ください。また、2024年12月に次期メンバーの募集を予定しているため、今の学部1年生の方も含めて、興味のある方は説明会に足を運んでみてください!



お茶大公式 X



■キャンパスツアーの様子



■高校生に向けた大学説明の様子



**櫻井 奏音さん**  
人間文化創成科学研究科理学専攻  
数学コース  
博士前期課程 1年

**松原 悠里さん**  
文教育学部  
人間社会科学科  
3年

**中村 朱理さん**  
文教育学部  
言語文化学科  
3年

**原田 春香さん**  
文教育学部  
言語文化学科  
3年

**小宮 瑠真さん**  
生活科学部  
人間・環境科学科  
2年

**掛川 藍さん**  
生活科学部  
心理学科  
3年

**山本 志帆さん**  
生活科学部  
食物栄養学科  
3年

**堀 綾花さん**  
生活科学部  
人間生活学科  
2年

**古谷 慧さん**  
文教育学部  
人間社会科学科  
3年

### 学生アンバサダーTシャツ



■学生アンバサダーTシャツデザイン打合せ



完成した学生  
アンバサダー  
Tシャツ!



おもて

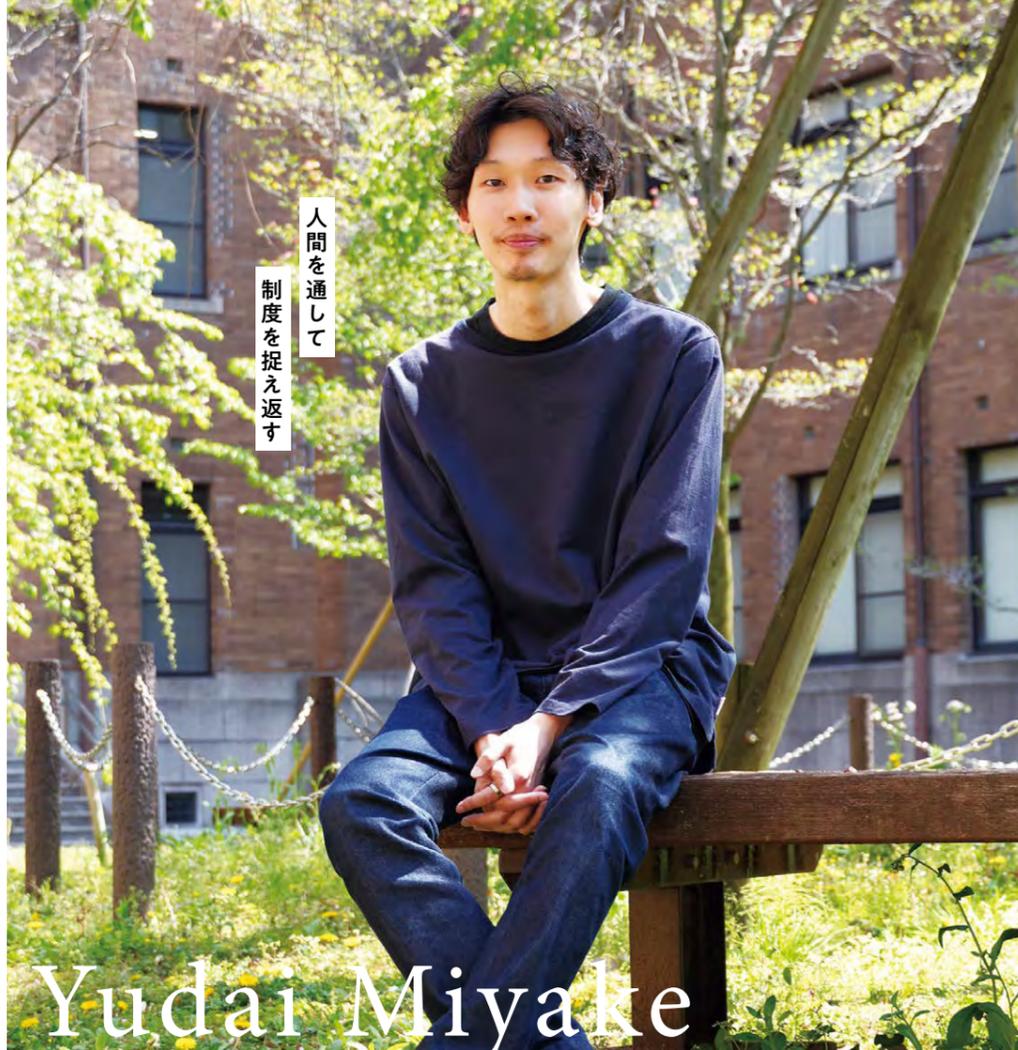
うら

三宅 雄大  
先生

基幹研究院人間科学系 助教

## Profile

早稲田大学・政治経済学部を卒業後、首都大学東京(現東京都立大学)・人文科学研究科に進学し、博士(社会福祉学)の学位を取得。立教大学・コミュニティ福祉学部(助教)を経て、2021年4月より現職。



Yudai Miyake

人間を通して  
制度を捉え返すQ1 専門のご研究について、  
お話を聞かせてください。

専門は、社会政策／社会福祉学です。おおまかには、社会扶助を対象として、現行制度の機能(不全)を明らかにし、そのうえで他の在り方を究明することを目指しています。より具体的には、生活保護利用世帯出身者の大学等進学率が低位であることに焦点化し、①現行の生活保護制度が大学等進学をどのように位置付け・条件付けているのかを分析し、あわせて、②利用世帯出身の大学生等にインタビュー調査を行い、かれらがどのようにして進学に至り、あるいはまた、家計をやり繰りして学生生活を継続しているのかを分析することで、③学生に対する生活保障／教育保障の在り方を研究しています。

以上のように研究を進めていく際、私は、法律等を分析する制度研究と、当事者を対象としたインタビュー調査を組み合わせるようにしています。それというのも、法律等によって規定されている制度は、実施機関によって解釈・運用される「制度」、さらには、利用者によって経験される「制度」と異なっていると考えられるからです。その「制度」に関わる人間を介

することで、はじめて対象とする制度の現実を(少しは)精確に析出できるようになる、そんな風に考えています。

## Q2 研究のおもしろさはどこにあるとお考えですか。

社会政策／社会福祉学研究の「おもしろさ」としては、社会科学の方法によって私たちの直観・常識一特に社会問題、社会保障制度に関わるもの一を修正・否定し、そのうえで、これまでとは異なる政策・制度・実践の在り方を提示できることが挙げられます。また、ほんの僅かであれ、現状を変える際のリソース(データ、概念、理論等)を社会に提供できる可能性があります。これもある種の「おもしろさ」と言えるかもしれません。

しかしながら他方で、以上に述べた「研究のおもしろさ」の向こう側には、私(たち)の生活世界の延長線上で、貧困状況をはじめとした構造的な不利を被りながら生活する他者がいます。そして、私が「おもしろい」と感じる学術的研究は、少なくとも即時的・直接的にかれの生活状況を改善することはありません。それゆえ、かれらの生活をテーマに「研究をおもしろがる」こ

とには、常に気持ちの悪さ・居心地の悪さが付き纏います。私自身は、この気持ちの悪さ・居心地の悪さをどうにかしたくて、研究を続けているようなところがあります。

Q3 お茶大生に向けてメッセージ  
をお願いします。

私が所属している社会学コースや、私が専門とする社会政策・社会福祉学では、現状を「疑う／分析する／批判する」という営みを重視しています。このように書く「社会学／社会政策・社会福祉学」という学問は、どこか否定的で非常識なことばかりを言っている…」そんなネガティブな印象を持たれるかもしれませんが、実際に行っていることは、様々なデータ(文書、統計、語り等)を地道に蓄積・分析しながら、そのデータに基づいて現状を少しでも精確に理解し「より楽な／公平な／等々…」いまとは違う社会の在りようを探究する、そんな地味で前向きな試みだったりします。この試みに少しでも興味がある方は、是非、社会学／社会政策・社会福祉学の世界に足を踏み入れてみてください。

担当: 谷口 幸代  
基幹研究院人文科学系 教授Q1 現職に就くまでの経緯を  
教えてください。

理学部情報科学科に在籍中、人がコンピューターをより快適に、便利に利用するためにはどのような方法が望ましいかを模索するHuman-Computer Interaction(HCI)という研究分野に興味を持ち、それに関連する研究室に所属しました。同研究室で博士前期課程を修了後、民間企業にシステムエンジニアとして就職しました。そこで携わったシステムは操作方法が複雑で、ユーザの知識や経験に依存しているために生じる困難に幾度となくぶつかり、提案や改善を重ねました。その過程でHCI研究分野の重要性を再認識し、学術研究に再度専念する決意を固めお茶大に戻りました。博士後期課程に進学後、分野のトップカンファレンスに論文が採択され、研究者としてのキャリアを選択する後押しになりました。また、在籍中に複数の企業でリサーチインターンを経験し、その中でヤフー株式会社のYahoo! JAPAN研究所(現:LINEヤフー株式会社 LINEヤフー研究所)の採用オファーを受け、現職に就くこととなりました。

Q2 現在はどのようなお仕事の  
内容ですか。

私はLINEヤフー研究所の研究者として、社内のサービス部門や大学との連携を通じて研究開発を推進しています。具体的な業務内容は、論文執筆や学会発表などの学術的な活動を軸に置きつつ、研究成果を内外で展開し、自社サービスへの採用を目指しています。私の研究テーマは、スマートフォンやスマートウォッチといった個人用端末に搭載されている各種センサを活用し、新規な入力操作を可能にする技術や、端末利用のコンテキストを推定してより使いやすいユーザインターフェースを提供する技術に焦点を当てています。また、カンファレンスの編集委員や実行委員としての活動も業務の一環として行っており、

ちなみに、研究室の先生は、学部生の頃から博士後期課程への進学を熱心に勧めてくださいましたが、私は一度は迷いなく就職を選びました。その後、やはり進学したいと相談した際に、快く受け入れてくださった先生のご厚意に感謝しています。

HCI分野の発展に向けて研究と運営の両面から寄与することを目指しています。

Q3 在学生へメッセージを  
お願いします。

学生時代は、数学や物理など、明確な解が求められる科目が得意でした。研究室に配属されてからの研究活動は、問題設定やアプローチから自分で考える必要があり、最初は戸惑いを感じました。しかし、大学での研究活動は、課題を見つけ出し解決する力、調査能力、そして創造性を養うための有益なトレーニングだったと感じます。私は研究職だけでなく開発職も経験しましたが、どちらの職種でも研究活動を通じて培ったスキルを活かす機会がありました。研究職を目指さない人でも、研究活動を通じて得られるスキルや経験は得難いものだと思いますので、ぜひ積極的にチャレンジしてみてください。

担当: 五十嵐 悠紀  
基幹研究院自然科学系 准教授池松 香  
さん

LINEヤフー株式会社

## Profile

理学部情報科学科卒業、人間文化創成科学研究科 理学専攻情報科学コース修了。2019年 理学専攻情報科学領域 博士課程修了。博士(理学)。2019年よりヤフー株式会社 Yahoo! JAPAN 研究所(現:LINEヤフー株式会社 LINEヤフー研究所)特任研究員。主任研究員を経て、2021年 上席研究員。2020年より東北大学電気通信研究所にて助教を兼任。

Kaori Ikematsu

研究活動を通じて培った  
スキルや経験が今も活かされています

# 附属学校園からの お知らせ



こども園で大切にしたい ~つながる生活~

文京区立  
お茶の水  
女子大学  
こども園便り  
From Center for Early Childhood Education and Care

文京区立お茶の水女子大学こども園は、大学が文京区から委託を受け子育て支援の推進と乳幼児教育の質の向上を目指し、認可保育所に幼稚園機能をそなえた、区立初の保育所型認定こども園として、9年目をスタートしています。この号では、キーワードの「つながる」に着目し、こども園の生活をお伝えします。

乳幼児期の保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っています。

0歳児から小学校入学までの時期を、共に過ごすこども園の生活。キーワードは「つながる」です。「人・遊び・地球・家庭・地域」この5つのつながりを大切に、子どもが豊かに育つ教育・保育を行っています。



### 人とつながる

一人一人がゆっくり「自分」になっていく過程を大切にします。園全体がみんなの家。異年齢の関わりや学生団体（おちゃいんど。）の皆さんや教員の方々等との出会いを、豊かな体験につなげています。



保育室の中で、部屋の端から端まで伝い歩きで移動します。1人が始めると同じようにする子が出てきます。



広場にある赤い屋根のおうち、好きなモノを持って集まってコンコン♪良い音！



中庭で階段を見つけると上へ上へと、上を見上げて登っていきま。保育者と一緒に登ったり降りたりを楽しみます。



保育室で手作りの椅子に座って、ブロックを持った。椅子にブロックを乗せて押したりしています。



水と泥が混ざり合う感触をじっくりと楽しんでいます。



桜の花に手を伸ばして、ジャンプ!!



広い広場にシートを敷いて、自分たちの場ができました。風が気持ちいい日々です。



人形のお医者さん。「お腹痛いですか？」



散歩の途中で出会う田中千尋先生(お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 特任講師)は、草木や花、虫のことなど何でも教えてくれます。嬉しい交流の時間です。



チームに分かれて鯉のぼり作りをしました。模様を話し合いながら作ります。



池にいる鯉や亀が大好き。じーっとよく見ています。



風が気持ちよく通り抜ける場所で、「だるまさんが転んだ」を楽しみます。



大学グラウンドの草むらでは、季節毎の虫に沢山出会えます。



図書館前の大きな葉っぱを拾って、お掃除です！



5歳児は給食のご飯を炊きます。経験を重ね、とても上手になりました。



お寿司さんとかき氷さんの開店です。「いらっしゃいませー！」

### 遊びがつながる

可塑性に富んだ素材や多様な道具を使い創造的に遊ぶ生活の中で、昨日・今日・明日へと遊びをつなげます。色・光・音等をからだで感じ表現する喜びを味わっています。

### 地球がつながる

食を楽しみ心地よく眠りのびのびと遊ぶ生活。自然の不思議と出会い、感じる体験を重ねています。様々な国の方々との関わりを通して、人との出会ううれしさを味わっています。

### 家庭がつながる

子育てサロンを開催し、小さな子をもつお母さんやお父さんを支え、一緒に育つ機会を設けています。地域の方々との出会いや協働の機会を大切にしています。

### 地域がつながる

親子もほっとできる園をめざしています。大切なことは、子どもが真ん中にあることです。情報の発信・受信、多様な保育参加の機会を通して、子どもへ向けるまなざしを共有します。

この緑豊かな大学のキャンパスが大好きな子どもたち。学内で出会う人のかかわりは、子どもたちにとって豊かでかけがえのない時として、身体中で吸い込んでいます。

教育・保育の実践及び研究を通して、誕生から死までの生涯発達を見据えた、0歳児からの教育・保育カリキュラムの開発と実践を行うことを目的に、「子どもたちの笑顔が輝くこども園」を目指し、子どもを真ん中において、職員と保護者の方々と心と力を合わせて創り上げていく営みを大切にしていきます!

## 附属学校園での出来事 2024年 4月～6月

### Jun. 6

- 附属高等学校**
  - 入学式・始業式・着任式・対面式
  - 新入生オリエンテーション
  - 3年修学旅行(沖縄・石垣島方面)
  - 春季健康診断・避難訓練(地震)
  - 自治会選挙・歓迎会
  - PTA総会・教育後援会総会・保護者会(全学年)
- 附属中学校**
  - 入学式・始業式・新任式
  - 新入生オリエンテーション
  - 情報モラル講習会・歓迎会
  - 全国学力・学習状況調査
  - 健康診断・新入生を迎える会
  - 保護者総会・かがみ会総会・教育後援会総会
  - 避難訓練(避難経路確認)・教職員救急法
- 附属小学校**
  - 離着任式・始業式・入学式
  - 給食開始・保護者会(各学年)
  - 全国学力・学習状況調査
  - 避難訓練
  - 健康診断・新入生を迎える会
  - 保護者総会・かがみ会総会・教育後援会総会
- 附属幼稚園**
  - 始業式・入園式・保護者会
  - 親子で遊ぶ日(4歳児)
  - 誕生会(4月生まれ)・PTA総会
  - パイオニッツ(学内散歩)5歳児+SDGS研究所
- いずみナーサリ**
  - 避難訓練(図上訓練・地震)・野菜苗植え
- こども園**
  - 個人面談・第1回ワクワクデー・誕生会
  - 全園児歯科健診・バス遠足(4・5歳児)
  - 避難訓練・安全指導・乳児健康診断
- 附属高等学校**
  - 面談週間・学校説明会
  - 授業参観・SSH運営指導委員会
  - 自治会総会・3年ケンブリッジ英検
  - 期末考査・教育実習・1・2年学力テスト
- 附属中学校**
  - 体育大会・グローバルキャンプ(1年)
  - 林間学校(2年)・修学旅行(3年)
  - 期末テスト・避難訓練
- 附属小学校**
  - 子育て講演会(1年)
  - 校外学習(3・4年)・引き取り訓練
  - 郊外園ジャガイモ掘り(1・6年)
  - 水泳学習(9月)・土曜参観
- 附属幼稚園**
  - 誕生会(6月生まれ)
  - ジャガイモ掘り(5歳児親子)
  - 親子で遊ぶ日(5歳児)
- いずみナーサリ**
  - 避難訓練(火災・救急要請)
  - 個人面談・教育後援会総会
- こども園**
  - 個人面談

### May 5

- 附属高等学校**
  - 1年諏訪合宿・3年学力テスト(2回)
  - 体育祭・面談週間(6月)
- 附属中学校**
  - 健康診断・生徒総会
  - 保護者対象情報モラル講習会・学年別保護者会
  - 国際日本語交流プログラム
  - 三味線ワークショップ
  - 教育実習1期(6月10日)
- 附属小学校**
  - 郊外園サツマイモ苗植え(3年)
  - 交通安全教室(1年)
  - 避難訓練・教育実習(6月)
  - 校外学習(1・3年)・運動会
- 附属幼稚園**
  - こどもの日の集い・健康診断
  - 全学年引き取り避難訓練
  - 親子遠足(新宿御苑)・誕生会(5月生まれ)
  - 親子で遊ぶ日(3歳児)・教育実習開始(前期2週間)
- いずみナーサリ**
  - 避難訓練(地震)・在園児定期健康診断
  - 保護者会・災害用伝言ダイヤル試行
- こども園**
  - 個人面談・遠足(4歳児)・誕生会
  - 全園児健康診断・避難訓練・安全指導
  - 親子遠足(3・4・5歳児)

### Apr. 4

- 附属高等学校**
  - 入学式・始業式・着任式・対面式
  - 新入生オリエンテーション
  - 3年修学旅行(沖縄・石垣島方面)
  - 春季健康診断・避難訓練(地震)
  - 自治会選挙・歓迎会
  - PTA総会・教育後援会総会・保護者会(全学年)
- 附属中学校**
  - 入学式・始業式・新任式
  - 新入生オリエンテーション
  - 情報モラル講習会・歓迎会
  - 全国学力・学習状況調査
  - 健康診断・新入生を迎える会
  - 保護者総会・かがみ会総会・教育後援会総会
  - 避難訓練(避難経路確認)・教職員救急法
- 附属小学校**
  - 離着任式・始業式・入学式
  - 給食開始・保護者会(各学年)
  - 全国学力・学習状況調査
  - 避難訓練
  - 健康診断・新入生を迎える会
  - 保護者総会・かがみ会総会・教育後援会総会
- 附属幼稚園**
  - 始業式・入園式・保護者会
  - 親子で遊ぶ日(4歳児)
  - 誕生会(4月生まれ)・PTA総会
  - パイオニッツ(学内散歩)5歳児+SDGS研究所
- いずみナーサリ**
  - 避難訓練(図上訓練・地震)・野菜苗植え
- こども園**
  - うれしいはじまりの日・始業式
  - みんなのはじまりの日(入園式)
  - 乳児健康診断・避難訓練・安全指導
  - 遠足(5歳児)・誕生会・こどもの日
  - 全園児保護者会



# Ochadai GAZETTE

vol.277  
Summer  
2024

発行日 / 2024年7月5日

発行 / 国立大学法人お茶の水女子大学

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

ご意見・ご感想はこちらまで

企画戦略課広報担当

E-mail: [info@cc.ocha.ac.jp](mailto:info@cc.ocha.ac.jp)

URL: <https://www.ocha.ac.jp/>



本誌、およびバックナンバーは、  
本学ホームページに掲載されています。  
どうぞご覧ください。



お茶の水女子大学は  
2025年に創立150周年を迎えます



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University